

京浜河川事務所における地域住民等との 現地意見交換会・勉強会及びアンケートの実施状況

令和7年9月30日

関東地方整備局 京浜河川事務所

関係住民

● 市民団体等への意見聴取

令和6年10月11日～令和7年7月9日 延べ11団体※ 11回



※うち、多摩川流域懇談会
関係6団体含む

● 川の通信簿

令和6年9月19日～10月19日
延べ8地点 参加者146人



河川空間の親しみやすさを、市民との
共同作業によるアンケート調査により
評価

● 共同点検

令和7年6月4日～13日
参加者170名（内、地元住民63名）



出水時における的確な水防活動及び避難
行動の推進を目的に、関係自治体・水防
団（消防団）及び地元住民と共通認識を
図るため、特に注意すべき箇所（重要水
防箇所等）の点検を共同で実施。

学識経験を有する者

● 多摩川河川整備計画有識者会議

- ・ 令和2年1月31日～令和7年7月8日
- ・ 延べ8回

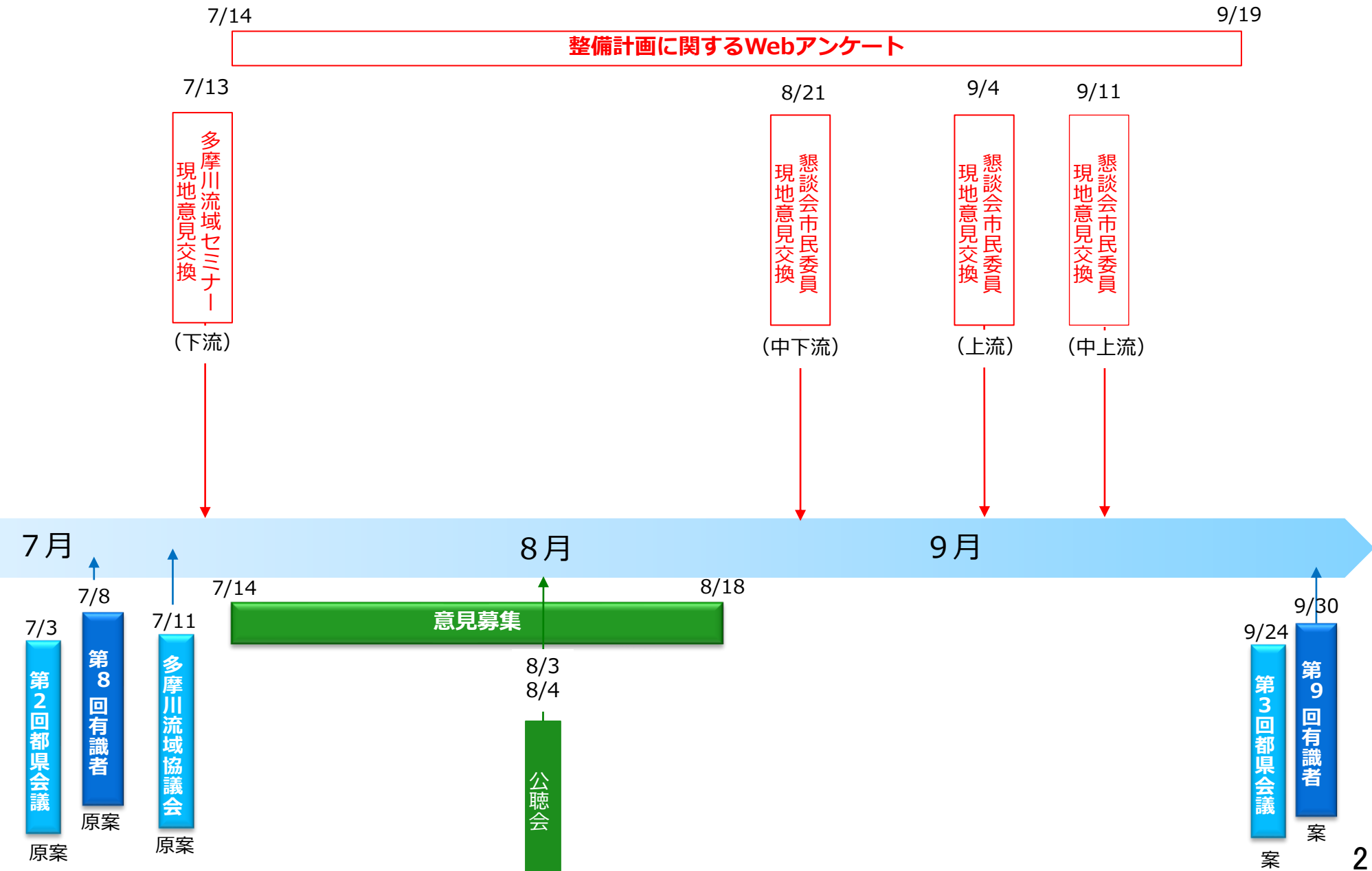


関係都県

● 多摩川河川整備計画関係都県会議

- ・ 令和7年1月14日、7月3日
- ・ 延べ2回





第62回 多摩川流域セミナー『気候変動時代の多摩川について考える ～多摩川水系河川整備計画変更に向けて～』

■日 時 : 令和7年7月13日(日) 10:30～16:00

■場 所 : 現地散策(高規格堤防(港町地区)、六郷地先、川崎市河港水門
セミナー(川崎市教育文化会館/WEB配信)

■参加者 : 一般 延べ72名(会場23名、WEB49名)

■概要説明・基調講演:

「多摩川水系河川整備計画変更について概要説明」

京浜河川事務所 流域治水課長 劔持 嵩之
河川環境課長 大浪 裕之

「気候変動とその対応で多摩川の環境はどうなっていくのか」

知花 武佳氏(多摩川流域懇談会会長・政策研究大学院大学教授)

■意見交換: コーディネーター 神谷 氏(多摩川流域懇談会事務局)

コメンテーター 小堀 氏(多摩川流域懇談会)
知花 氏(多摩川流域懇談会)
佐々木(京浜河川事務所長)

■閉会挨拶 : 佐々木事務所長

■参加者の声(アンケートから一部抜粋)

『多摩川沿いの風景がまた一つ楽しめる新たな視点をいただきました。』

『これを機に幅広い議論の場が持てると思います。』

～現地見学～

高規格堤防(港町地区)・六郷ヨシ原
川崎市河港水門



～多摩川水系河川整備計画概要説明及び講演～



～意見交換～



■日 時： 令和7年8月21日（木） 15:30～19:30

■場 所： 現地意見交換：調布第一陸閘（治水、調布市より今後の工事予定解説）
二ヶ領上河原堰（環境、魚道対策）
基調講演・意見交換：二ヶ領せせらぎ館（WEB配信）

■参加者： 一般 延べ22名（会場16名、WEB6名）

■概要説明・基調講演：

「多摩川における水源としての水質や水量、利水の歴史と現状」

古米 弘明氏（中央大学研究開発機構教授・多摩川河川整備計画有識者会議委員）

「多摩川水系河川整備計画【大臣管理区間編】（原案）～利水に関する内容について～」

京浜河川事務所 流域治水課長 剣持 嵩之・地域防災調整官 佐藤 薫

■意見交換：コーディネーター 神谷 氏（多摩川流域懇談会事務局）

コメンテーター 小堀 氏（多摩川流域懇談会）

古米 氏（中央大学研究開発機構教授）

佐々木（京浜河川事務所長）

■閉会挨拶： 佐々木事務所長

■意見交換でのご意見（抜粋）

『今後の河川環境モニタリングについて「支援」とあるが協働とすべきではないか。』

『「渡し」となる乗船場を作ってもらいたい。』

『ワンドの絶滅危惧植物 今後の保全について。』

『正常流量や環境目標についてぜひ多摩川なりの計画、実現可能な計画として作ってほしい。』



■日 時：令和7年9月4日（木） 15:30～18:30

■場 所：現地意見交換：永田橋付近（カワラノギク保全活動箇所）
基調講演・意見交換：もくせい会館（WEB配信）

■参加者：一般 延べ24名（会場24名、WEB0名）

■概要説明・基調講演：

「河川環境の定量目標・管理計画の現状と課題」

鶴田 舞氏（国土交通省水管理・国土保全局河川環境課）

「多摩川水系河川整備計画【大臣管理区間編】（原案）～環境の目標に関する内容について～」

京浜河川事務所 河川環境課長 大浪 裕之氏

■意見交換：コーディネーター 神谷 氏（多摩川流域懇談会事務局）
コメンテーター 小堀 氏（多摩川流域懇談会）
鶴田 氏（国土交通省水管理・国土保全局河川環境課）
佐々木氏（京浜河川事務所長）

■閉会挨拶：佐々木事務所長

■意見交換でのご意見（抜粋）

『環境目標等設定において、環境省や農水省との連携はあるか。生活環境や水田の減少。』
『礫河原が何年生のものが大切。個体群の維持には礫河原の質、多様性、指数が必要。』
『生息の場の創生は理解。ただ、地球温暖化等で昔の環境に戻すことは難しいのでは。』
『整備計画変更に市民参加の仕組み作り。価値観を求める住民を河川に引きつける機会では』
『礫河原を作ること自体、環境破壊では。工事を行いながら自然創生する仕組みは如何。』

～現地意見交換～
永田橋付近（カワラノギク保全活動箇所）



～基調講演・意見交換～



■日 時： 令和7年9月11日（木） 15:00～18:00

■場 所： 現地意見交換：石田大橋（治水・環境）
浅川合流点付近（治水・環境＜浅川市民団体からの補足＞）
基調講演・意見交換：日野市クリーンセンター（WEB配信）

■参加者： 一般 延べ27名（会場25名、WEB2名）

■概要説明・基調講演：

「浅川の水環境を考える」

小倉 紀雄氏（東京農工大学 名誉教授）

「多摩川水系河川整備計画【大臣管理区間編】（原案）～流域総合水管理・浅川について～」

京浜河川事務所 流域治水課長 劔持 嵩之氏

河川環境課長 大浪 裕之氏

■意見交換：コーディネーター 神谷 氏（多摩川流域懇談会事務局）

コメンテーター 小倉 氏（東京農工大学）

佐々木氏（京浜河川事務所長）

■閉会挨拶： 佐々木事務所長

■意見交換でのご意見（抜粋）

『流域総合水管理について今後どのような連携・実現性。流域懇談会との違い、強化の仕組みは如何。』

『河川の中に工事用道路がある。川の中に再生骨材（油類）を敷き詰め、水質や生物に負担がかかる。』

『日野市は水の郷。ただ、流下能力向上のための河道掘削や取水の強化、生き物の生息環境は如何。』

『定量目標について具体的な場所、量、方法で行うのか。専門家との提案が今後あるのか。』

『多摩川の生き物ミナミメダカ。遺伝子を組み換えされたメダカが放流されている。対策等は如何。』

～現地意見交換～
石田大橋・浅川合流点付近



～基調講演・意見交換～



●『多摩川水系河川整備計画【大臣管理区間編】（変更原案）』に伴う公聴会を開催いたしました。

●公聴会は河川法第16条の2第4項の規定に基づき、実施をいたしました。

河川法第16条の2第4項「河川管理者は、河川整備計画の案を作成しようとする場合において必要があると認めるときは、公聴会の開催等関係住民の意見を反映させるために必要な措置を講じなければならない」

●公述人は延べ5名、傍聴人は延べ8名の方にご参加いただきました。

■日時：令和7年8月3日（日） 10:30～11:20

■場所：立川市女性総合センター 5階 第3学習室

■参加者：公述人1名 傍聴人1名

■日時：令和7年8月3日（日） 13:00～13:50

■場所：狛江エコルマホール（狛江市民ホール）6階 展示・多目的室

■参加者：公述人1名 傍聴人2名

■日時：令和7年8月4日（月） 10:30～11:20

■場所：大師河原干潟館

■参加者：公述人1名 傍聴人4名

■日時：令和7年8月4日（月） 15:00～16:10

■場所：立川市女性総合センター 5階 第3学習室

■参加者：公述人2名 傍聴人1名

■概要説明：

「多摩川水系河川整備計画変更について概要説明」（全日程の冒頭30分）
京浜河川事務所 劔持流域治水課長 ・大浪潮川環境課長

～公聴会の様子～



～開会挨拶～



～多摩川水系河川整備計画概要説明～



多摩川水系河川整備計画の意見募集(7月14日～8月18日)⇒15件のご意見を頂戴

様式例

募集要項

- ①氏名
- ②住所(都道府県・市区町村)
- ③意見(概ね200文字程度)

応募方法

郵送、FAX、電子メール

氏名		住所(都道府県・市区町村)	
氏名	住所	意見	

(意見ごとにできるだけ200文字以内で記載してください)

※本表について、「個人情報の保護に関する法律(個人情報保護法)」に準じ、「多摩川水系河川整備計画(変更原案)【大臣管理区間編】」に対する意見募集、統計のみに使用し、いただいた意見を使用する場合にも個人が特定されないよう加工して使用します。



令和7年7月14日
国土交通省関東地方整備局
京浜河川事務所

多摩川水系河川整備計画の変更に対する意見募集及び公聴会について

～いっしょに考えてみませんか 多摩川のこれから～

国土交通省関東地方整備局では、「多摩川水系河川整備計画【大臣管理区間編】」の変更に向けて検討を進めているところです。

今般、「多摩川水系河川整備計画(変更原案)【大臣管理区間編】」を作成し、関係する住民の皆様から広くご意見を募集するとともに、神奈川県、東京都に在住する関係住民の皆様からご意見をお聴きの公聴会を開催することとしましたのでお知らせいたします。

「多摩川水系河川整備計画(変更原案)【大臣管理区間編】」は、関東地方整備局ホームページまたは京浜河川事務所ホームページに掲載しています。

○意見募集の実質について

別添1『「多摩川水系河川整備計画(変更原案)【大臣管理区間編】」に対する意見募集について』を参照

○公聴会の開催について

別添2『「多摩川水系河川整備計画(変更原案)【大臣管理区間編】」に対する公聴会の開催について』を参照

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 都庁記者クラブ 神奈川県政記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 京浜河川事務所
電話：045-503-4000(代表) メールアドレス：ktr-keihin-kannai@mlit.go.jp
副所長 永井(内線：205)
流域治水課 課長 齋藤(内線：351)

意見募集チラシを作成、自治体や施設に展開



京浜河川事務所(多摩川) @keihin_tamagawa・7月14日
多摩川水系河川整備計画変更の意見募集(アンケート)を開始いたしました。
詳細につきましては以下リンクよりご確認ください、皆様のご意見をお聞かせください。よろしくお願いいたします。
ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin...
アンケートはこちら
select-type.com/e/7id=sPHQHzQ...
#多摩川 #整備計画 #変更 #アンケート

公式Xにも告知
(1000件を超えるビュー数)

WEBでのアンケートを実施（7月14日～9月19日）

『いっしょに考えてみませんか多摩川のこれから』

こちらは京浜河川事務所の多摩川アンケートとなります。

多摩川という川は知っていますか？

多摩川における川づくりの計画である「多摩川水系河川整備計画」変更にあたり、皆様からのご意見を集めています。ご協力をお願いします。

If you would like to answer this questionnaire in English, please click on the following link.

(英語での回答をご希望の方は以下のリンクよりご回答ください。)

<https://select-type.com/e/?id=1d1oOgbi9I>

回答にあたり、以下の事項についてご承知おきいただけますようお願いいたします。

- ・いただいたご意見は、個人や企業名・団体名が特定できない形とした上で公表する場合があります。
- ・ご意見に対して、個別にお答えすることはできませんが、今後の整備計画や川づくりの参考とさせていただきます。
- ・本アンケートは回答終了後に、ご自身の回答を保持することや編集することはできません。

回答する

各設問後には
関係情報の解説
を掲載



解説

多摩川ってどんなところ？

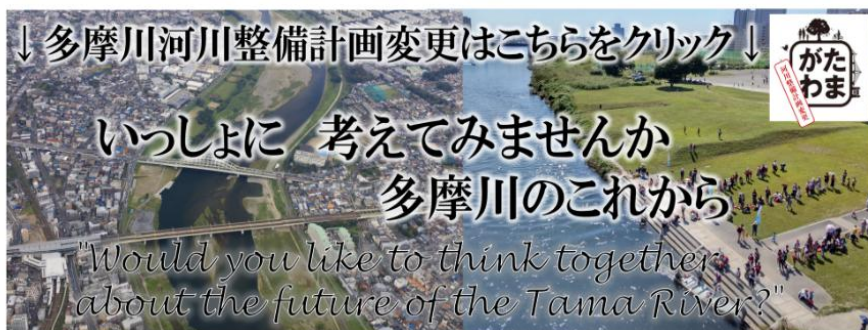
山梨県甲州市の笠取山から東京都と神奈川県^{とんかんけん}の都県境^{とんけんけん}を流れて、羽田沖まで流れる一級河川です。

多摩川の長さは138km、流域面積は1,240km²であり、多摩川流域の人口は約414万人にのぼります。非常に人口が多いところを流れる大きな河川です。



多摩川水系河川整備基本方針(国土交通省)より引用
https://www.mlit.go.jp/river/basic/info/jigyo_keikaku/gaiyou/seibi/pdf/tama_3.pdf

京浜河川事務所HPトップページへバナーを設置



↓多摩川アンケートはこちら↓



※こちらをクリックいただいても
アンケートにお答えいただけます。

アンケートチラシを作成、自治体や施設に展開

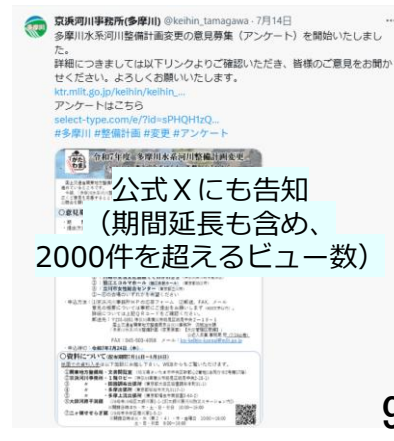
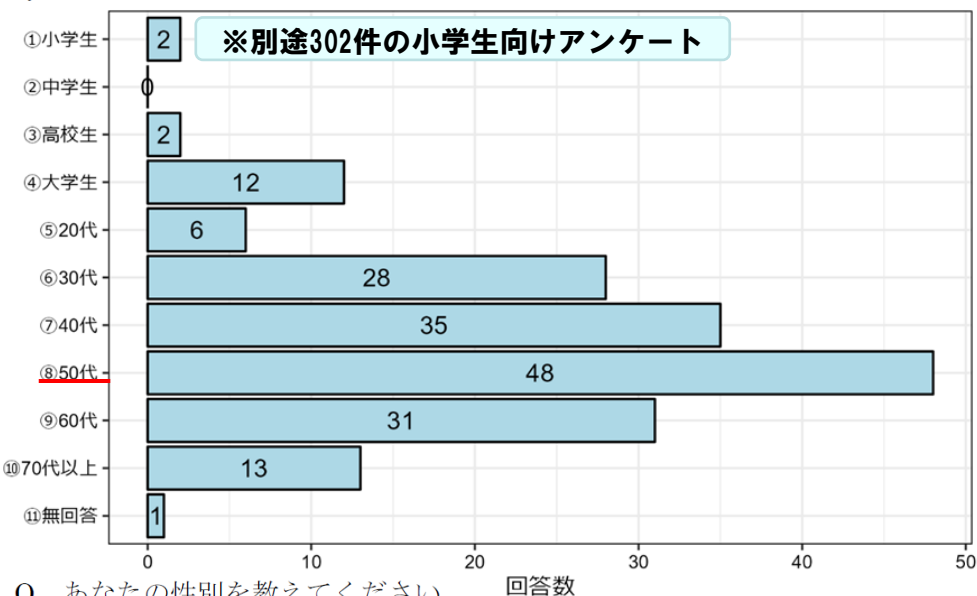


表. 9月19日終了時点アンケート回収結果

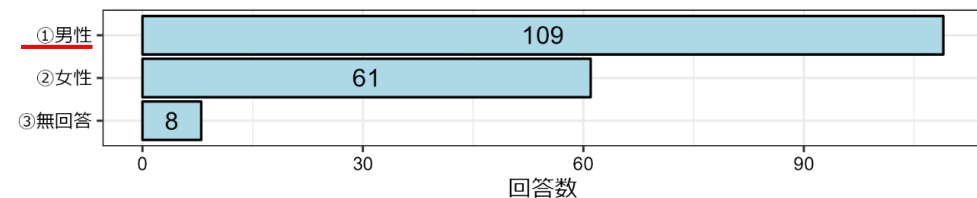
No.	種類	回収数
1	個人向け 標準コース	162
2	個人向け 簡易コース	15
3	個人向け 英語標準コース	1
4	企業向け 標準コース	7
計		185

○個人向け

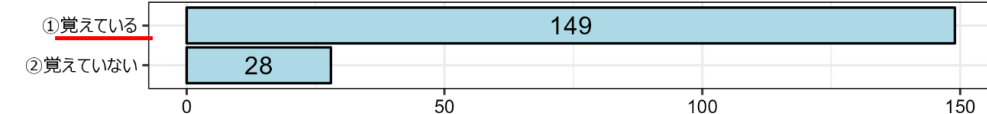
Q. あなたの年代を教えてください。



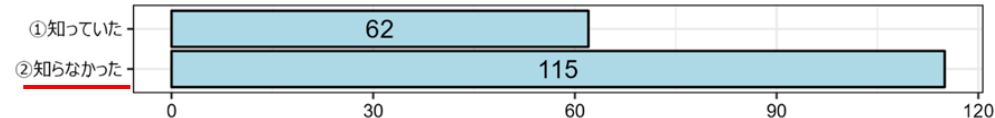
Q. あなたの性別を教えてください。



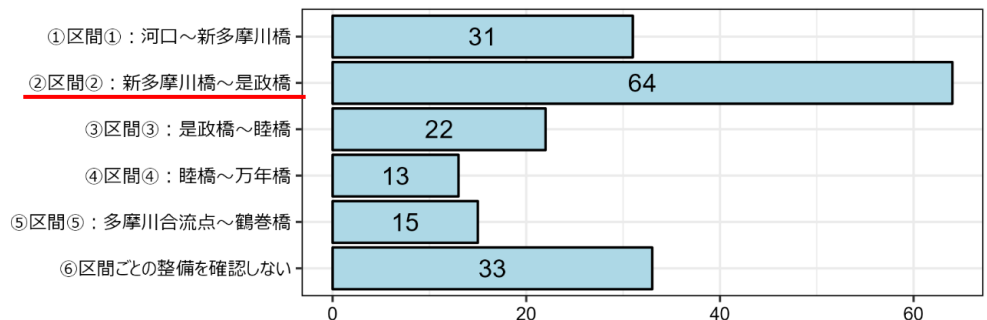
Q. 令和元年度の東日本台風を覚えていますか



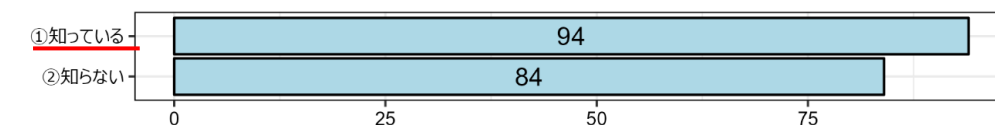
Q. 多摩川水系河川整備計画を知っていますか



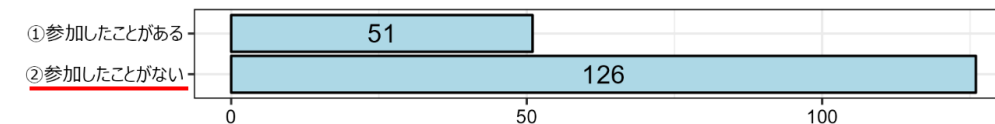
Q. どちらの地域にお住まいですか。また、地域の整備内容を確認しますか



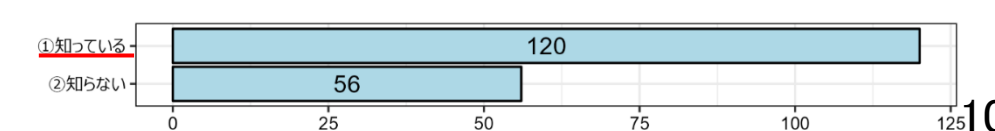
Q. ご自宅の水道はどこから水を引いているか知っていますか



Q. 多摩川のイベント（水辺の楽校など）に参加したことがありますか

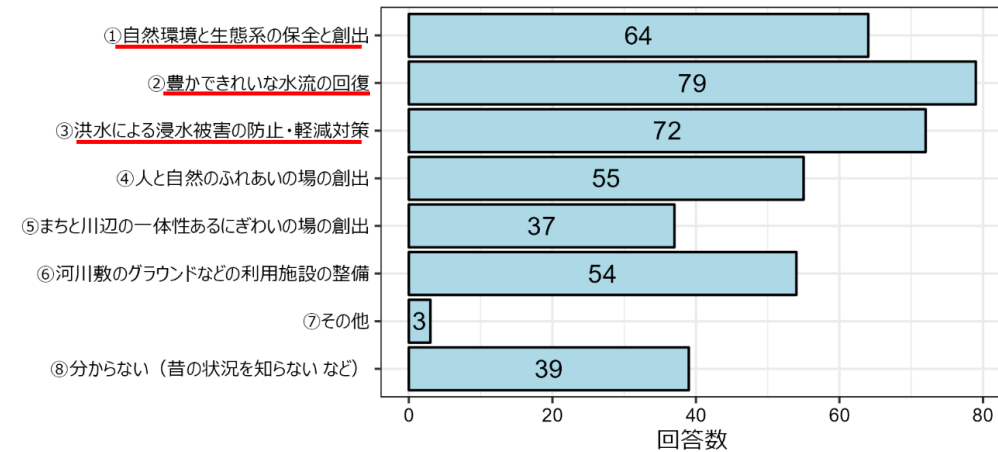


Q. 多摩川にはどのような生き物が生息しているか知っていますか

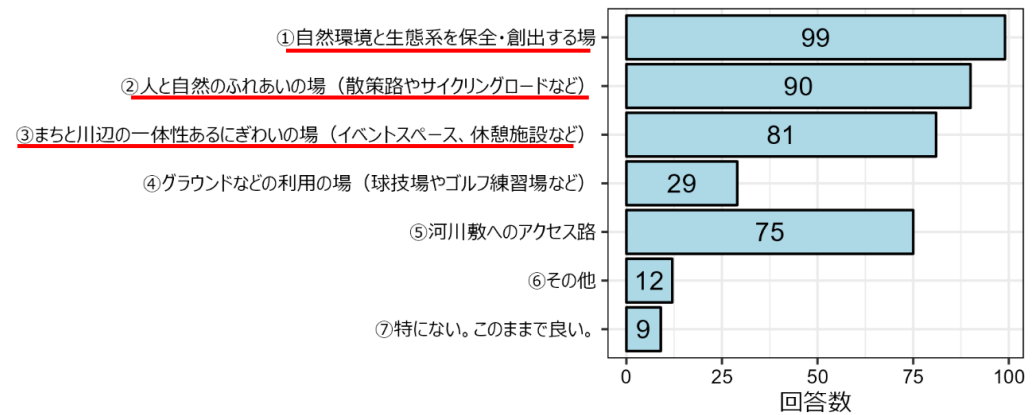


アンケート結果について ～ 個人：評価・期待 ～

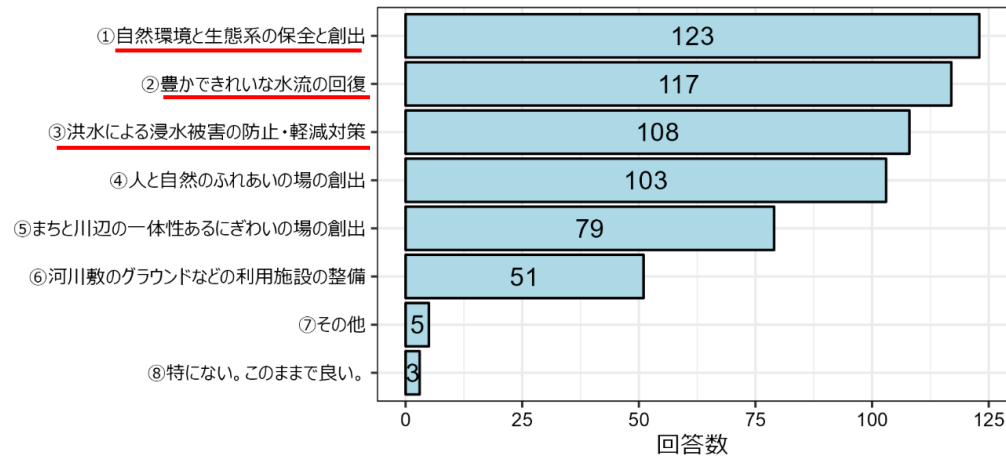
Q. これまでの多摩川の川づくりについて10年以上前とくらべて良くなったもの（複数可）



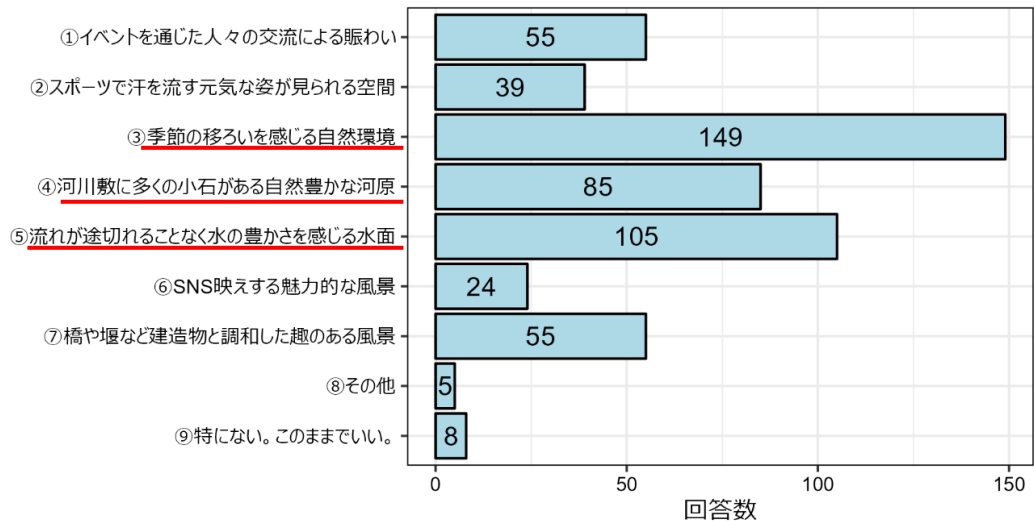
Q. 河川敷の利用についてより充実を図ってほしい用途（複数可）



Q. 将来の多摩川に期待するもの（複数可）



Q. 多摩川の景観に求めるもの（複数可）

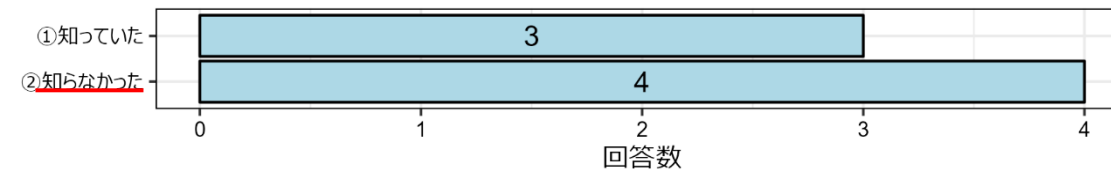


○企業向け

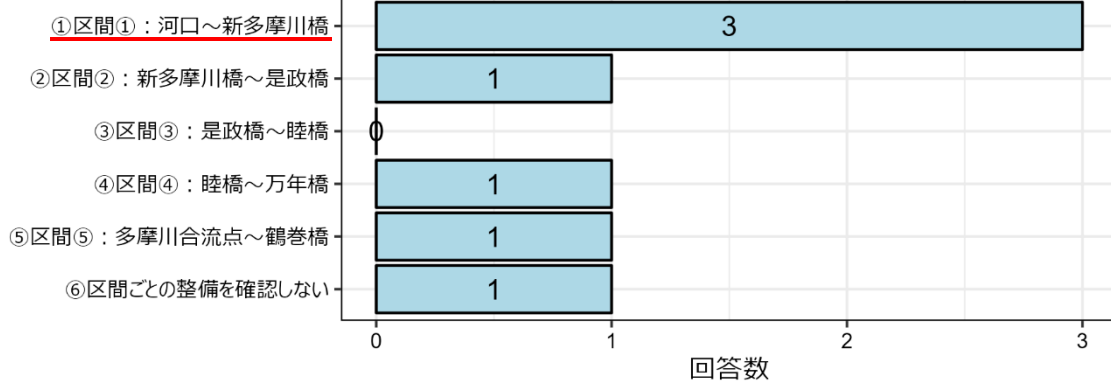
Q. 令和元年度の東日本台風を覚えていますか



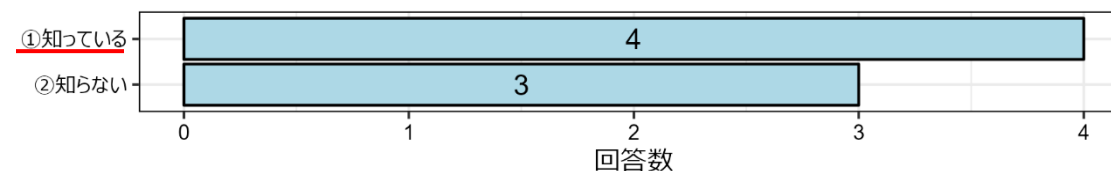
Q. 多摩川水系河川整備計画を知っていますか



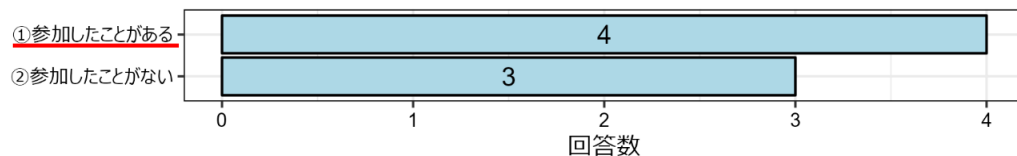
Q. どちらの地域にお住まいですか。また、地域の整備内容を確認しますか



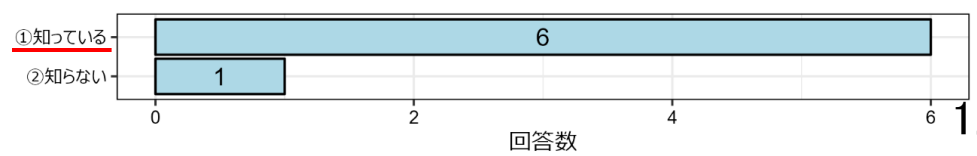
Q. ご自宅の水道はどこから水を引いているか知っていますか



Q. 多摩川のイベント（水辺の楽校など）に参加したことがありますか

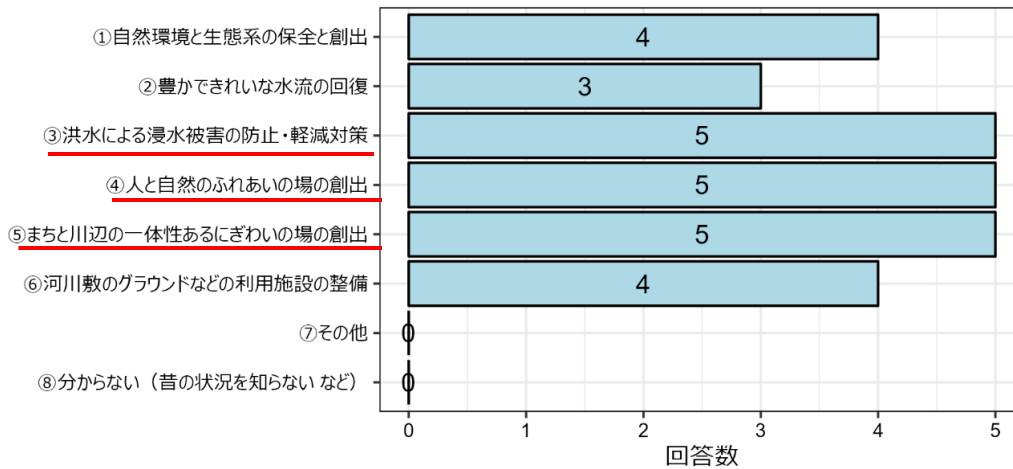


Q. 多摩川にはどのような生き物が生息しているか知っていますか

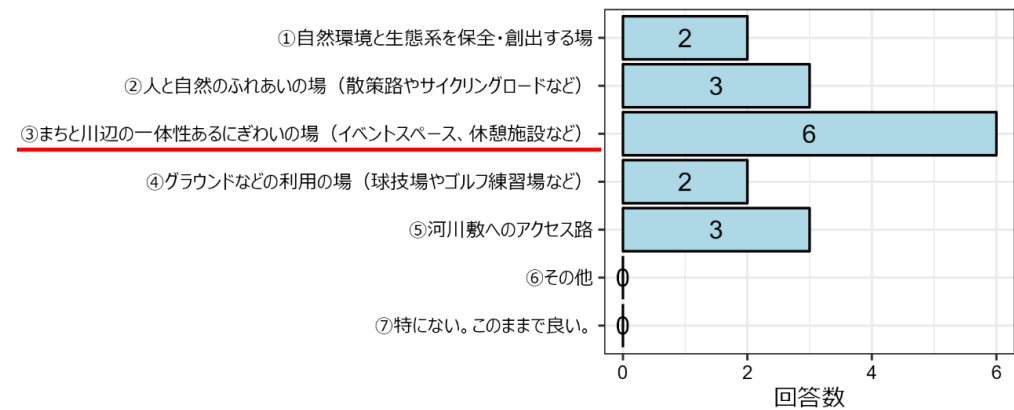


アンケート結果について ～ 企業：評価・期待 ～

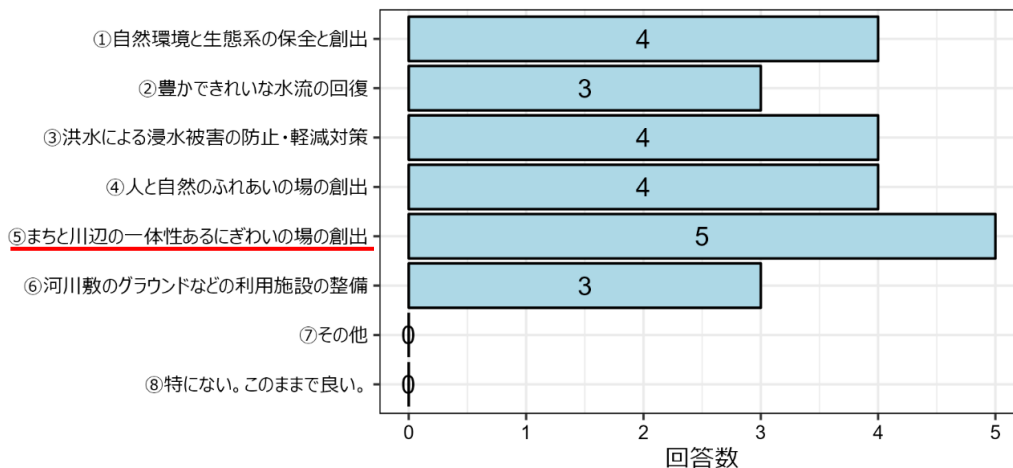
Q. これまでの多摩川の川づくりについて10年以上前とくらべて良くなったもの（複数可）



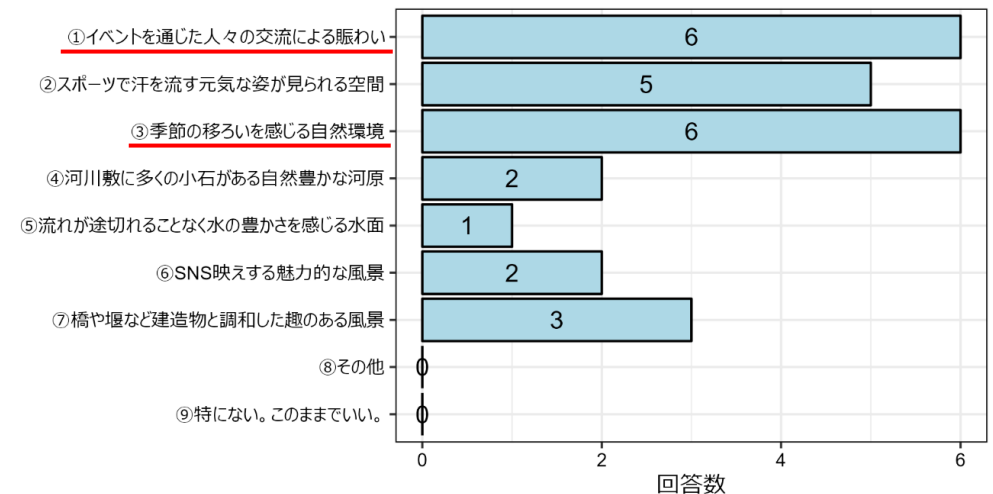
Q. 河川敷の利用についてより充実を図ってほしい用途（複数可）



Q. 将来の多摩川に期待するもの（複数可）



Q. 多摩川の景観に求めるもの（複数可）

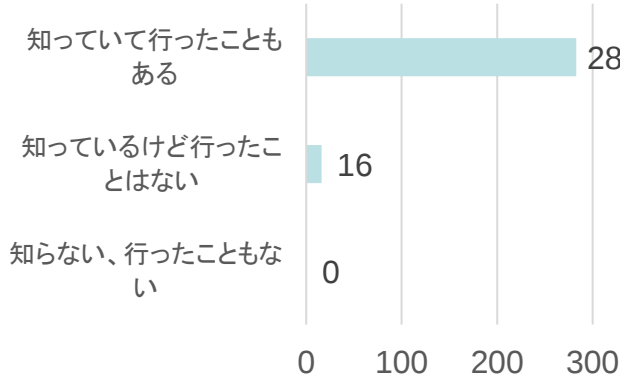


アンケート(記述式)のとりまとめ (7月14日～9月19日)

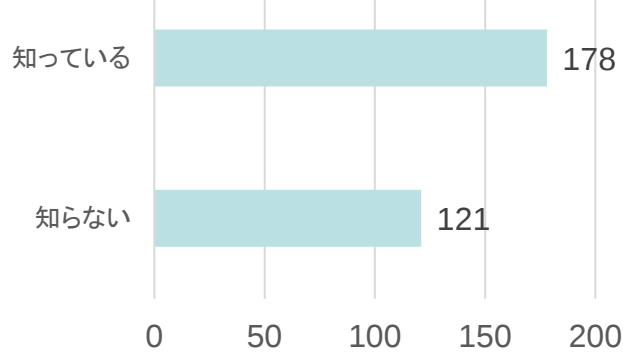
テーマ	関心度	頻出キーワード	課題	期待・提案
治水・防災	非常に高い (特に高齢者・家族層)	#洪水対策 #堤防整備 #浸水被害	・ 浸水経験 ・ 気候変動への不安	・ 安全性向上 ・ 地域連携による整備
自然環境・生態系	高い (自然観察者・子育て世代)	#生物多様性 #魚道改善 #ヨシ原保全	・ 生態系の減少 ・ 外来種の繁殖	・ 自然との共存 ・ 保全型整備
アクセス・利便性	高い (広い世代に共通)	#駐車場整備 #街灯設置 #サイクリングロード	・ 夜道の安全 ・ 設備不足	・ 快適な利用空間 ・ バリアフリー整備
景観・文化・地域資源	中～高 (地域住民・観光客)	#景観保全 #花火大会 #キャンプ場整備	・ 景観の損失 ・ 文化的価値の低下	・ 地域資源の活用 ・ 文化の継承
市民参加・運用改善	高まっている (企業・住民)	#ボランティア活動 #企業連携 #利用ルール整備	・ 管理不足 ・ マナー違反	・ 参加型整備 ・ 民間連携の仕組み
情報発信・啓発	課題として浮上 (若年層・新住民)	#啓発活動 #申込導線改善 #多摩川の魅力発信	・ 情報の伝達不足 ・ 参加方法の不明瞭	・ ブランディング ・ SNS活用 ・ 教育連携

※ N=185票(回答数)

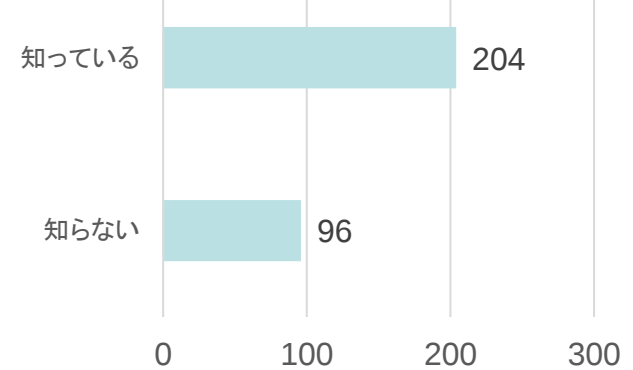
Q.多摩川(たまがわ)を知っていますか？



Q.家の水道水はどこから来ているか知っていますか？



Q.多摩川にどのような生き物がいるか知っていますか？



アンケート(記述式)のとりまとめ N=302票(回答数)

カテゴリ	主な意見・感想	備考・例
自然・生き物	生き物がたくさんいて自然豊か	魚、鳥、虫、カモ、昆虫、プランクトンなど
水のきれいさ	水がきれいで気持ちいい	「魚が自由に泳げるくらい綺麗」 「冷たくて気持ちいい」など
ゴミ・環境保護	ゴミを捨てないでほしい、環境を守りたい	「たまにゴミがある」 「看板を作してほしい」など
遊び・イベント	川遊びが楽しい、花火大会、釣り、アスレチック希望	「滑って怖い」 「遊べる日を作してほしい」など
危険性・不安	深くて危ない、氾濫が怖い	「溺れる可能性」 「床下工事が必要になった」など
身近さ・生活との関係	学校の近く、通学中に見える、水道水に使われている	「家の水道につながっている」 「登戸にも続いている」など
歴史・地理	昔は汚かった、県境になっている、玉川上水の話	「山梨県から流れている」 「一級河川」など
希望・提案	泳げるようにしてほしい、遊び場やカフェがほしい	「もっと動物とふれ合いたい」 「イベントを増やしてほしい」など